



「夢吟香」の50%精白米

平成26年1月31日（金）
愛知県農林水産部農業経営課
技術調整グループ
担当 武井・犬飼
内線 3666・3663
ダイヤルイン 052-954-6410
愛知県農業総合試験場
作物研究部作物研究室
担当 加藤・野々山
電話 0561-62-0085
内線 501
あいち産業科学技術総合センター
食品工業技術センター
発酵バイオ技術室
担当 伊藤・石川
電話 052-521-9316（代）

吟醸酒に適した酒米新品種「^{ゆめぎんが}夢吟香」を 奨励品種に採用しました

この度、愛知県農業総合試験場とあいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターが共同開発した酒米の新品種「夢吟香」を、平成26年1月31日付けで、主要農作物種子法に基づく奨励品種^{*}に採用しましたのでお知らせします。美味しい吟醸酒の原料になる酒米として、本格的な栽培・普及を目指します。

※奨励品種とは、県内で普及すべき優良品種として位置づけた品種のことです。

1 新たに奨励品種に採用した品種「夢吟香」について

「夢吟香」（平成24年9月25日品種登録）は、心白^{*}の形とそろいが良く、精米歩合60%以下に精米できるため、吟醸酒^{*}に適しています。香り豊かで、淡麗な酒が醸造できます。

また、稲の主要な病害に強く、倒伏しにくいいため、栽培しやすい品種です。

「夢吟香」の普及により、地域特産の新酒の開発、酒米生産地の活性化、生産農家の経営向上が期待されます。

※心白とは、米の中心部が白く不透明に見える部分をいいます。心白は、すき間が多いので麴菌がよく増え、良質の麴を造るのに適しています。

※吟醸酒は、精米歩合60%以下の酒米を使用して造られたお酒です。

2 関連事項

- (1) 県内では100haの普及面積を目指します。
- (2) 愛知県の酒米の平成24年度作付面積は約74haです(平成24年産農産物検査結果等から推計)。
- (3) 主要農作物種子法とは、主要農作物(稲・麦類・大豆)の優良な種子の生産及び普及の促進を目的とする法律です。
- (4) 主要農産物種子法では、奨励品種を都道府県が決定するために試験を行うことや良質な原種(一般栽培用種子を生産するための種子)等の生産・安定供給を行うことが定められています。

3 問い合わせ先

○奨励品種に関すること

愛知県農林水産部農業経営課

技術調整グループ 主査 東野 敦

内 線 3 6 6 7 ・ 3 6 6 6

電 話 0 5 2 - 9 5 4 - 6 4 1 0 (ダイヤルイン)

○品種特性に関すること

愛知県農業総合試験場

作物研究部作物研究室 主任研究員 加藤 満

所在地 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

電 話 0 5 6 1 - 6 2 - 0 0 8 5

内 線 5 0 1

○酒造特性に関すること

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター

発酵バイオ技術室 主任研究員 伊藤彰敏

所在地 愛知県名古屋市西区新福寺町2-1-1

電 話 0 5 2 - 5 2 1 - 9 3 1 6

(参考)

○酒米奨励品種の特徴と県内作付面積(平成24年度)

品種名	普及対象地域	熟期	主な用途	県内作付面積※	高度精白適性※	病害抵抗性		耐倒伏性
						穂いもち	縞葉枯病	
夢吟香	平地	晩生	吟醸、大吟醸	8 h a	適	やや強	抵抗性	やや強
若水※	平地	早生	本醸造、純米酒	3 3 h a	やや不適	弱	罹病性	強
夢山水※	中山間地	極早生	本醸造、吟醸、大吟醸	3 3 h a	適	やや強	罹病性	やや弱

※「若水」の奨励品種採用年次は昭和58年、「夢山水」は平成10年です。両品種の作付面積は、平成24年産農産物検査結果から推計。

※高度精白とは、精米歩合60%以下に精米することです。